

【 診療科:消化器外科 】
【 レジメン登録番号:SG-53 】

〈 FP + RT療法【食道癌用】 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール (day)																													
			1	2	3	4	5	...	8	↔	12	...	15	↔	19	...	22	↔	26	...	29	30	31	32	33	...	36	↔	40		50	
シスプラチン	70mg/㎡	div	○																			○										
フルオロウラシル	700mg/㎡	div	○	○	○	○																○	○	○	○							
体外照射	2Gy/day (総量60Gy)	体外照射	○	○	○	○	○		○	↔	○		○	↔	○		○	↔	○		○	○	○	○	○		○	↔	○			

【1コース期間： 56日】 【総コース数： 1コース】

【適応癌種：食道癌】

【時期：術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休業時の再開基準

投与プロトコール

<day1,29>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	フィジオ140 500mL	div(3時間で)
Rp.2	フィジオ140 500mL	div(3時間で)
Rp.3	5-HT ₃ R Blocker 1A	div(30分で)
	デキサート 9.9mg	
	生理食塩水 100mL	
Rp.4	マンニトールS 300mL	div(30分で)
Rp.5	シスプラチン 70mg/m ²	div(3時間で)
	生理食塩水 500mL※ ¹	
Rp.6-①	ソリューゲンF 500mL	div(3時間で)
Rp.6-②	フルオロウラシル 700mg/m ²	div(24時間で)
	生理食塩水 500mL	
Rp.7	ソリューゲンF 500mL	div(3時間で)

<day2~4>

<day30~32>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	5-HT ₃ R Blocker 1A	div(30分で)
	デキサート 6.6mg	
	生理食塩水 100mL	
Rp.2	フルオロウラシル 700mg/㎡	div(24時間で)
	生理食塩水 500mL	

【参考文献:

【備考：※1…Rp.5の生理食塩水の量はスプラチンと合わせて500mLとなるようにする

【備考：2012年度第4回化学療法委員会(2012年9月20日開催)にて、変更了承。

【放射線治療：原則、第1日目から週5日2Gy/日、土日休み、合計60Gy照射。6週間継続（day1-5, 8-12, 15-19, 22-26, 29-33, 36-40）

【変法情報: シスプラチン・フルオロウラシルの投与は、4週間以上の間隔をあけて施行する。

【変法情報】腎毒性軽減目的に投与する補液は、患者の状態によって、種類・投与量等変更されることもある。